

## 第1回成田市親善柔道大会における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

- 1 主催者が大会参加者（選手・補助役員生徒・顧問・審判等を依頼した役員、外部指導者、部活動指導員、以降大会参加者）に求める感染拡大防止のための措置について
  - (1) 生徒や顧問は、各学校で行っている健康観察カード等による健康管理をしっかりと行ってください。
    - ①体調がよくない場合（例：発熱、咳、咽頭痛などの症状がある）
    - ②同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
    - ③過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
  - (2) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに発症の状況や濃厚接触者の有無などについて報告します。
  - (3) マスクを着用します。（受付や着替えなどスポーツを行っていない際や会話する際はマスクを着用します。）
  - (4) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒をします。
  - (5) 他の参加者との距離（できるだけ2mを目安に）を確保します。
  - (6) 大会開催中に大きな声での会話、応援等は慎みます。
  - (7) 熱中症予防のためにこまめな水分補給をします。
  - (8) 使用したマスク、鼻水や唾液などが付いたごみ、使用済のテーピングなどは各自でビニール袋等を用意して持ち帰ります。
  - (9) 感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従います。
- 2 主催者による感染拡大防止のための措置について
  - (1) 大会参加者への対応
    - ①マスクの準備、着用するよう依頼します。試合以外の着替えなど競技を行っていない時や会話する際はマスクを着用します。役員や補助員役員生徒は試合中においてもマスクを着用します。
    - ②大会中に発熱や体調不良等の異変を感じたら速やかに顧問や大会本部に報告します。他の選手と離れた場所で看護します。保護者にも連絡をします。熱中症の場合も考えられるため、判断がつかない場合は救急搬送を依頼します。
  - (2) 競技会場での対応
    - ①室内で実施する競技は、密閉空間とならぬよう十分な換気を行います。空調設備の活用や扇風機を併用するなどの工夫を心がけます。屋外で実施する競技については、密接、密集にならないように注意します
    - ②更衣室の利用は、一度に入室する参加者数を制限します。利用時以外は換気も行います。
    - ③トイレをはじめ会場には、不特定多数の参加者が直接手に触れる物が多くあるため消毒に努めます。
    - ④試合数や試合時間を調整したり密を避ける対策を設けたり運営方法を工夫します。
    - ⑤試合で使用する備品類は試合ごとに消毒を行います。
    - ⑥手洗い、手指消毒用の石鹸やアルコール消毒液を用意します。
  - (3) その他
    - ①今大会は無観客とし、選手、監督、コーチ、大会役員以外の入場は禁止します。
    - ②大会参加の有無については、各学校長の判断でお願いいたします。